



令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	有限会社ショーマンシップ
公演団体名	劇団ショーマンシップ

内容	
<p>今回ワークショップは、各学校の状況に合わせ、以下のⅠ・Ⅱ・Ⅲの3パターンにて対応する。</p>	
Ⅰ. 《学校に赴いての実施》	
① 心と身体の準備体操	コミュニケーションゲームを行い、児童・生徒の心と身体の緊張をほぐす。羞恥心が和らぐことで、表情が豊かになり、新しい自分の発見に繋がる。
② 作品紹介	脚本・演出家の市岡により、写真やパネル、プロジェクターを使って作品の時代背景などを、わかり易く説明。 
③ 参加シーンの稽古	カジモドを応援する歌【勇気！自信！】とフィナーレで歌われる【ノートルダム】を出演俳優の指導のもと、全児童・生徒で合唱。 ※ワークショップ後も昼休みの校内放送や音楽の時間などでの練習を学校側に依頼。 (事前に学校側へ、CD・楽譜・歌詞カードをお渡しします。)
④ 芸にチャレンジ	劇中に演じられるパントマイムを指導。実際に体験してもらう。 
Ⅱ. 《オンラインで実施の場合》	
ミーティングアプリを使用し、オンラインでの実施。	
① ストレッチ	劇団員による指導のもと、一緒にストレッチを行ってもらう。
② 作品紹介	脚本・演出家の市岡により、写真や映像を使って作品の時代背景などを、わかり易く説明。
③ 参加シーンの稽古	カジモドを応援する歌【勇気！自信！】とフィナーレで歌われる【ノートルダム】を出演俳優の指導のもと、全児童生徒にて合唱。

※ワークショップ後も昼休みの校内放送や音楽の時間などでの練習を学校側に依頼。
 (事前に学校側へ、CD・楽譜・歌詞カードをお渡しします。)

④ 芸にチャレンジ

劇中に演じられるパントマイムを指導。実際に体験してもらう。

Ⅲ. 《動画での場合》

作成した動画を YouTube の限定公開にて見てもらう。または、DVD を学校に郵送。

①～③の内容をそれぞれ 10 分程度にて作成。

① ストレッチ動画

劇団員によるストレッチの紹介。映像を見てもらいながら、一緒にストレッチを行ってもらう。

② 作品説明

脚本・演出家の市岡により、写真や映像を使って作品の時代背景などを、わかり易く説明。

③ 参加シーンの稽古

カジモドを応援する歌【勇気！自信！】とフィナーレで歌われる【ノートルダム】を出演俳優が歌う。その映像を見ながら、児童生徒さんに歌の練習をしてもらう。

※昼休みの校内放送や音楽の時間などでの練習を学校側に依頼。

(事前に学校側へ、CD・楽譜・歌詞カードをお送りします。)

④ 芸にチャレンジ

パントマイミストによる劇中に演じられるパントマイムの実演と指導。映像を見てもらい、一緒にパントマイムにチャレンジしてもらう。

⑤ 出演俳優たちからのメッセージ

出演俳優たちによる、児童生徒さんに対するメッセージを送ります。

タイムスケジュール (標準)

I. 【学校の赴いて 90 分の場合】

10 分	20 分	10 分	20 分	30 分
心と身体 準備体操	作品紹介	休憩	参加シーンの稽古	芸にチャレンジ

※ あくまで一例です。

学校毎にタイムスケジュールを作成。(各学校に適したタイムスケジュールにて実施。)

II. 【オンライン 30 分の場合】

5 分	10 分	5 分	10 分
ストレッチ	作品紹介	参加シーンの稽古	芸にチャレンジ

※ あくまで一例です

学校毎にタイムスケジュールを作成。(各学校に適したタイムスケジュールにて実施。)

Ⅲ. 【動画の場合】

- ①ストレッチ動画 (10分)
- ②作品紹介 (10分)
- ③参加シーンの稽古 (10分)
- ④芸にチャレンジ (10分)
- ⑤出演俳優たちからのメッセージ (2分)

学校の都合の良い時間帯に①～⑤の動画を見てもらう。

派遣者数

- I. 5名 (主指導：1名 補助者：4名)
- II. 5名 (主指導：1名 補助者：4名)
- III. 5名 (主指導：1名 補助者：4名) ※⑤は劇団員総出演

学校における事前指導

ワークショップは、それぞれの学校の教育方針に即したものとするため、担当の先生とワークショッププランナーが協議の上、児童・生徒さんに適した内容を実践。
また、参加意識を高めるうえでも、使用する合唱用のCDを事前に渡しておき、ワークショップ前までに児童・生徒さんに聴いてもらっておく。

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	有限会社ショーマンシップ
公演団体名	劇団ショーマンシップ

演目
ノートルダム物語

派遣者数
21名（キャスト：16名 スタッフ：5名）

タイムスケジュール（標準）					
【午後公演 13：30 開演の場合】					
9:00	11:30	12:30	13：30	15:20	16:50
搬入・仕込み	参加稽古	スタンバイ	本番・カーテンコール	会場撤去	退館
【午前公演 10：00 開演の場合】					
（前日）夕方2時間ほど、搬入・仕込みをさせていただきます。					
（当日）					
8:00	10:00	10:50	12:20		
入館・参加稽古・スタンバイ	本番・カーテンコール	会場撤去	退館		

実施校への協力依頼人員
0名 （舞台上で児童生徒さんが参加される場合は、児童生徒参加人数：1名～8名）

演目解説

(あらすじ)

その容姿の醜さゆえ「カジモド（神のいたずら）」と名づけられたノートルダム大聖堂の鐘撞き男。彼はある時、ジプシーの踊り子・エスメラルダに出逢い、恋心を抱く。

そんな折、カジモドの育ての親である将官ジェハンが

「町の治安を脅かすジプシーたちを全て捕らえてしまえ！」

と、部隊長フィーバスに命じるのだった。悩むカジモド。

何故なら彼もジプシーの血を引いていたのだった。

兵士たちから追われ、ノートルダム大聖堂に逃げ込んだ

エスメラルダを助け、匿うカジモド。

ついにカジモドは、ジプシー達とともにジェハンに

立ち向かうことを決意する。

その時、彼の出生の秘密が明かされる。

そして、奇跡が起きる！



(みどころ)

2004年より16年間、多くの子供たちに感動を与えてきた本作。2017年にキャリア・スキルの高いスタッフのプランと指導の下、リニューアル。より芸術性の高い作品となる。

ヴィクトル・ユゴー原作『ノートルダム・ド・パリ』の不条理さをしっかりと子どもたちに伝え、その上で「生きる希望の物語」「小さな勇気が自分を変える物語」に脚色。

オリジナルでありながら耳に残る楽曲を、修練を重ねた俳優たちが歌い、踊る、熱い作品である。また専門性の高い大道芸も披露。

体育館が劇場になる本格的な舞台装置、時代背景を踏まえた衣装・小道具と、視覚的にも優れ、調和の取れた総合芸術作品である。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

○歌で応援

主人公カジモドが困難に直面したシーンで、乗り越えなければいけない「心の壁」を児童生徒さん全員の合唱で応援。(楽曲【勇気！自信！】)

○出演者との競演

当日のリハーサル(約1時間)を経て、俳優と同じ様に衣装・メイクをして本番に出演。出演者は、1名～8名。

「パリの人々」「ジプシー」「兵士」役など、主に子どもたちが笑顔になれる場面に登場。

○全員での大合唱

物語のハッピーエンドを出演者・児童生徒・先生の全員で、歌で讃える。

ワークショップにて歌唱指導を行い、本番はフィナーレで大合唱。(楽曲【ノートルダム】)

児童生徒とのふれあい

○公演終了後、座談会を実施

出演者の司会進行により、希望者のみ、或いは全児童生徒にて実施。

芝居の内容・演技・舞台セット等のことから、観ている人に夢や希望を与える仕事の魅力について話すとともに、児童生徒さん自身が夢と希望を持って前に進んで行くことの大切さを伝えられるようにと考えております。

○一緒に歌う

カジモドを応援する劇中歌【勇気！自信！】、フィナーレの楽曲【ノートルダム】を児童生徒さんと一緒に歌います。

ワークショップにて歌唱指導した後の上演までの期間も、音楽の時間などに歌ってもらうなどして、参加意識の向上を図ります。